



未就職卒業生への集中支援2015

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月20日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2015」に取り組み、1月から3月末までにジョブサポーターの支援によって、約3万3千人が就職しています。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2015」に取り組んでいます。

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援(大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など)を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

◆新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を随時開催し、企業との出会いの機会を増やします。

地域の大学等との連携による 中小企業と大学生等との マッチング等の実施

全国47箇所に設置された地域人材コーディネート機関が、自治体・地域金融機関・大学などと連携し、地域の中小企業・小規模事業者の人材ニーズを把握して、合同企業説明会・短期就業体験・経営者や従業員との交流会などを実施することで、紹介から定着までを一貫支援します。

◆中小企業庁ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/hojyokin/2015/1502132712jinzai.pdf>

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練や紹介予定派遣を活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等 によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

◆詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください：<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

紹介予定派遣を活用した 正社員就職の支援

未就職卒業生を対象に派遣元での研修と派遣先での派遣就労(紹介予定派遣)を実施し、社会人としての基礎的スキルと経験を積み、派遣期間終了後の派遣先での正社員就職を支援します。

◆紹介予定派遣活用型正社員就職応援事業(若者キャリア応援制度)：<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000045159.html>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

未就職のまま卒業された方のうち、
新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の
支援による就職の実績

◇平成26年4月～6月：16,531人

◇平成25年4月～6月：19,755人

◇平成24年4月～6月：24,663人

◇平成23年4月～6月：19,815人

<ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例>

事例1

高校在学中は接客を中心に応募はしたものの全て不調に終わり新卒応援ハローワークに来所したDさん。本人は依然として接客希望だったが、面談で感じたこと、性格やコミュニケーション能力等を考慮し、「真面目でコツコツと最後まで諦めない性格を活かし、これからは製造業を応募してみては？」と提案し、了承を得た。本人のスキルも考慮し、一般求人は避け高卒求人を探したところ、食品製造で本人も興味をもった事業所が見つかり、応募の結果、採用が決まった。また、当事業所もこのことがきっかけで高卒3年以内の既卒者を積極的に採用していただいた。

事例2

県外の大学を卒業後、ハローワークに来所したCさん。在学中にも就職活動をしていたが、内定を得ることが出来なかった。来所当初は、落ち込んでいた様子であったが、職業相談を重ねるうちに笑顔も見られるようになり、ハローワークが実施する応募書類作成セミナーや模擬面接、バス見学会にも積極的に参加する等、前向きな姿勢がみられるようになった。そして、バス見学で訪問した製造業の総合職に応募。事前に見学をしていたことから、面接対策を十分に行うことができ、無事に採用となった。

事例3

大学卒業後3年目のAさん。アルバイト等就労経験が無く、いざ応募になると躊躇。当初心を開かず頑なに求人検索を繰り返していたが根気よく声掛けを実施。人間関係が構築された頃、小学校よりずっといじめにあってきたことを聴取。心理サポートの利用と並行し、自身の得意分野に気づきを得てもらうため短時間就労を提案、アルバイトを開始した。その後も継続的に話を聴く中で、アルバイトを通して働くことの大変さと楽しさ、人間関係の必要性を学んだとのこと。本人の希望職種と正社員就業の意向が高まったことを確認し、面接会への参加を勧奨。面接練習を数回実施のうえ面接会に参加したところ、面接会参加企業に採用となった。

事例4

大学卒業後、大学病院の契約社員として勤務していたBさん。正社員として長期的に勤務したいとの思いから退職し、就職活動を行うもなかなか就職が決まらず新卒応援ハローワークに来所し、相談を始める。病院での勤務経験から、医療関係に応募していたが、新卒応援ハローワークで相談を重ねるうちに医療という名前だけに拘っていたことに気づき、またヒアリングにより自分の価値観や得意能力、将来展望が明確になり、一般企業にも自分のやりがいを見つけることができることに気づくことができた。業種、職種の選択と応募書類の書き方等を支援した結果、営業事務職に応募、採用となった。